



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月4日

上場会社名 高千穂交易株式会社 上場取引所 東
コード番号 2676 URL <https://www.takachiho-kk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井出 尊信
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートマネジメント本部長 (氏名) 岩本 昌也 TEL 03-3355-1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	20,724	5.5	1,380	1.3	1,544	7.2	1,097	2.4
2025年3月期第3四半期	19,648	3.6	1,362	39.0	1,441	13.7	1,071	4.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,857百万円 (53.1%) 2025年3月期第3四半期 1,213百万円 (△3.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	58.84	—
2025年3月期第3四半期	58.27	58.20

(注) 当社は、2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	24,016	17,139	71.4	917.56
2025年3月期	23,459	16,834	71.8	905.18

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 17,139百万円 2025年3月期 16,834百万円

(注) 当社は、2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	58.00	—	102.00	160.00
2026年3月期	—	34.50	—		
2026年3月期（予想）				46.00	80.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	6.8	2,200	5.8	2,100	4.7	1,500	2.9	80.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	20,343,600株	2025年3月期	20,343,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,664,066株	2025年3月期	1,745,532株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	18,647,289株	2025年3月期3Q	18,380,820株

(注) 1. 期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2025年3月期115,800株、2026年3月期3Q34,300株）が含まれております。

また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2025年3月期3Q115,800株、2026年3月期3Q66,569株）が含まれております。

2. 当社は、2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

また、2026年2月4日（水）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されます。ただし、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響などが、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を見据え、『注力事業への重点投資による事業成長』と『お客様伴走型で共に新しい未来と価値を創造』を基本方針として、事業戦略を推進しております。

事業戦略として、「ロイヤルカスタマー戦略の進化」、「サービスビジネスの成長」、「新規事業・グローバル事業の強化」、「成長投資60億円の実行」を掲げ、事業の拡大を図っております。

具体的には、ビジネスセキュリティセグメントでは、主要商品である商品監視システム、CCTVや入退室管理システムや新しく取り扱いを開始したサイバーセキュリティシステムなどセキュリティ商品の販売強化や付加価値強化、及び顔認証システムなどの画像認識やRFIDシステム、省人化システムなどのリテールソリューションの拡大を図っております。また、MSPサービスや万引情報配信プラットフォームなどのクラウドサービスに加え、AI技術が搭載された統合セキュリティソリューションの拡販も強化しております。

他方、エレクトロメカニクスセグメントでは、エレクトロニクス事業においては主に通信インフラ市場、IoTを主とした産業機器市場、プリンター等ビジネス機器市場やアミューズメント市場への拡販及びソリューションビジネスの拡大、及び東南アジア市場への拡販、またメカニクス事業では、引き続き成長が見込まれる半導体製造装置等の産業機器市場、国内、及び北米へのキッチン等の住宅設備向け機構部品の販売、アミューズメント市場への拡販やユニット商品の開発などに注力しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、リテールソリューションやデータセンター向けセキュリティシステム等の成長によりビジネスセキュリティセグメントが好調に推移し、前年同期比5.5%増の207億24百万円となりました。

損益につきましては、上記理由により、上場来最高益を更新し、営業利益は前年同期比1.3%増の13億80百万円、経常利益は外貨建取引の為替差益が増加し、前年同期比7.2%増の15億44百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことなどから前年同期比2.4%増の10億97百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、「クラウドサービス&サポートセグメント」と「システムセグメント」を、「ビジネスセキュリティセグメント」として統合しました。これは、クラウドサービス事業の拡大は一定の成果を得られたことと、セキュリティ市場というターゲット市場の明確化を目的にしたもので、今後、セキュリティ市場への販売を強化して参ります。

デバイスセグメントにつきましても、事業の内容をより分かりやすくするため、「デバイスセグメント」を「エレクトロメカニクスセグメント」へ名称を変更しております。

また、前年同期比較につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(ビジネスセキュリティセグメント)

ビジネスセキュリティセグメントの売上高は、前年同期比10.7%増の104億91百万円、営業利益は前年同期比38.0%増の8億86百万円となりました。

リテールソリューション商品類は、アパレル市場、及びディスカунストア向けにRFIDシステムや監視カメラの大型案件が好調に推移し、売上高は前年同期比7.3%増の30億12百万円となりました。

ビジネスソリューション商品類は、データセンターや工場向けに入退室管理システムや監視カメラシステムが好調に推移し、売上高は前年同期比11.9%増の34億21百万円となりました。

グローバル商品類は、防火システムの大型案件やオフィス向けセキュリティシステムが好調に推移し、加えて円安による円換算収益増加などにより売上高が増加し、前年同期比23.2%増の27億24百万円となりました。

保守サービス商品類は、一部製品の保守終了の影響で、前年同期比4.6%減の13億33百万円となりました。

(エレクトロメカニクスセグメント)

エレクトロメカニクスセグメントの売上高は、前年同期比0.6%増の102億32百万円、営業利益は、円安による仕入コスト増加や営業要員等の成長投資による販管費増加により前年同期比31.3%減の4億94百万円となりました。

エレクトロニクス商品類では、コンシューマ向け電子部品の販売が好調に推移したことにより、売上高は前年同期比1.6%増の65億円となりました。

メカニクス商品類では、キッチン向けやオフィス向け機構部品の販売が好調に推移したものの、前期好調だった複合機向け機構部品、発電設備向け部品の販売の反動減により、売上高は前年同期比1.1%減の37億32百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ5億56百万円増加し、240億16百万円となりました。これは売掛金が7億30百万円減少した一方で、投資有価証券が7億67百万円、商品及び製品が4億13百万円増加したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ2億51百万円増加し、68億77百万円となりました。これは未払法人税等が2億49百万円、賞与引当金が1億66百万円減少した一方で、契約負債が3億62百万円、繰延税金負債が3億5百万円増加したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ3億4百万円増加し、171億39百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が5億17百万円増加したことなどによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末から0.4ポイント下降し、71.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」（2025年5月13日公表）で発表いたしました通期の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,026	5,589
受取手形	54	33
売掛金	6,562	5,831
契約資産	570	729
電子記録債権	745	959
商品及び製品	3,603	4,016
原材料	139	118
前払費用	1,418	1,572
その他	114	331
貸倒引当金	△28	△77
流動資産合計	19,206	19,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	167	154
その他（純額）	236	217
有形固定資産合計	403	371
無形固定資産		
ソフトウェア	122	114
その他	6	6
無形固定資産合計	129	121
投資その他の資産		
投資有価証券	3,193	3,960
繰延税金資産	105	46
敷金及び保証金	329	313
その他	91	98
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,719	4,418
固定資産合計	4,252	4,911
資産合計	23,459	24,016

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,005	2,850
電子記録債務	227	234
リース債務	10	10
未払金	325	419
未払法人税等	325	75
契約負債	1,202	1,564
賞与引当金	351	184
役員賞与引当金	73	11
株主優待引当金	—	31
その他	302	436
流動負債合計	5,823	5,820
固定負債		
リース債務	29	20
繰延税金負債	105	411
役員株式給付引当金	33	0
退職給付に係る負債	596	596
その他	37	27
固定負債合計	801	1,056
負債合計	6,625	6,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,189	1,189
利益剰余金	13,893	13,390
自己株式	△861	△813
株主資本合計	15,431	14,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	722	1,240
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	615	873
退職給付に係る調整累計額	65	49
その他の包括利益累計額合計	1,403	2,163
非支配株主持分	0	—
純資産合計	16,834	17,139
負債純資産合計	23,459	24,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	19,648	20,724
売上原価	14,699	15,494
売上総利益	4,949	5,230
販売費及び一般管理費	3,586	3,849
営業利益	1,362	1,380
営業外収益		
受取利息	28	29
受取配当金	55	78
為替差益	27	75
受取保険金	2	2
その他	14	4
営業外収益合計	127	189
営業外費用		
支払利息	2	1
支払手数料	0	0
投資事業組合運用損	38	22
その他	7	1
営業外費用合計	49	25
経常利益	1,441	1,544
特別利益		
新株予約権戻入益	3	—
投資有価証券売却益	52	62
特別利益合計	55	62
税金等調整前四半期純利益	1,496	1,607
法人税、住民税及び事業税	371	374
法人税等調整額	54	134
法人税等合計	425	509
四半期純利益	1,071	1,097
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,071	1,097

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,071	1,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117	517
繰延ヘッジ損益	9	△0
為替換算調整勘定	263	258
退職給付に係る調整額	△13	△16
その他の包括利益合計	142	760
四半期包括利益	1,213	1,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,213	1,857

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	146百万円	135百万円

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	ビジネス セキュリティ	エレクトロ メカニクス	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	9,476	10,172	19,648	—	19,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,476	10,172	19,648	—	19,648
セグメント利益	642	720	1,362	—	1,362

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	ビジネス セキュリティ	エレクトロ メカニクス	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	10,491	10,232	20,724	—	20,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,491	10,232	20,724	—	20,724
セグメント利益	886	494	1,380	—	1,380

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年3月21日に「新中期経営計画 2025 - 2027 Security. Solutions. Synergy. ～ビジネスセキュリティ×エレクトロメカニクスで、進化の最先端へ～」を公表しました。従来、報告セグメントとして開示していた「クラウドサービス&サポート」に関する事業の拡大は一定の成果を得られたため、事業ポートフォリオの再編や新規ビジネスの創出、グループ会社のガバナンスとグループ間シナジーの強化、管理上「ビジネスセキュリティ」、「エレクトロメカニクス」に関する事業に集約すること等を目的に、2025年4月1日付で組織改定を行っております。それに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「クラウドサービス&サポート」、「システム」、「デバイス」の3区分から、「ビジネスセキュリティ」、「エレクトロメカニクス」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を、商品類別に分解した情報は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
リテールソリューション商品類	2,808	3,012
ビジネスソリューション商品類	3,057	3,421
グローバル商品類	2,211	2,724
保守サービス商品類	1,398	1,333
ビジネスセキュリティ 計	9,476	10,491
エレクトロニクス商品類	6,397	6,500
メカニクス商品類	3,775	3,732
エレクトロメカニクス 計	10,172	10,232
顧客との契約から生じる収益	19,648	20,724
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	19,648	20,724

(注) 第1四半期連結会計期間より、顧客との契約から生じる収益の区分を従来の「クラウドサービス&サポート」、「システム」、「デバイス」の3区分から、「ビジネスセキュリティ」、「エレクトロメカニクス」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益は、商品類別に分解した情報を、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。